

# 会長「直伝」将棋教室に熱気

京都市山科区の児童館で行われている将棋教室が、子どもたちの静かな熱気にあふれている。地域に住む日本将棋連盟京都府支部連合会長らの「直伝」で、子どもたちは将棋盤の上で真剣な戦いを続けている。

## 山科の児童館

山科区大宅の大宅児童館（山手重信館長）。同児童館では、子どもたちに楽しみながら礼儀作法を身につけてもらおうと、今年度将棋と囲碁の教室を開いている。近くに住む小野巖将棋連盟府支部連会長ら八人がボラ

## 8人がボランティア 子どもを指導

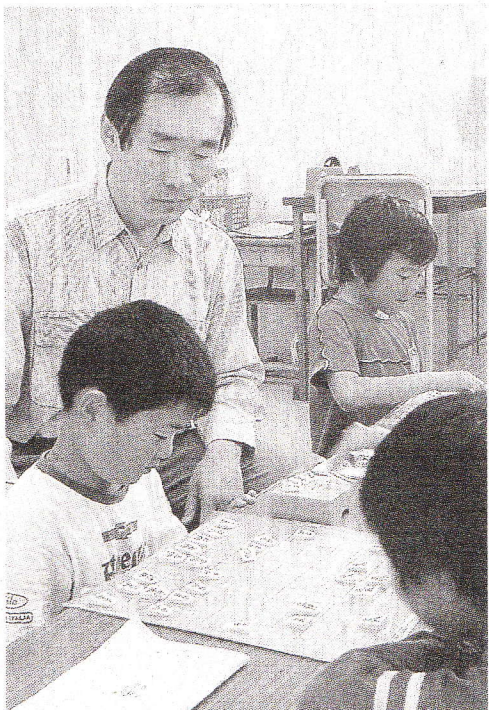
ンティアで講師となり、子どもたちの指導に当たっている。

将棋教室では、二十人ほどの子どもたちが、小野会長らから駒の進め方や禁じ手などを習った後で、それぞれ将棋盤をはさみ、対局に熱中した。

中には勝ったあとで「もっといい手があった」と泣き出す子もあり、楽しみながらも真剣な勝負を繰り広げていた。

小野会長は「礼儀や決断力、相手の身になって考えることを、将棋を通じて自然に身につけてほしい」と話している。

（石川健一郎）



小野会長（写真左）の指導を受けながら、将棋に取り組む子どもたち

（京都市山科区大宅・大宅児童館）